

つかさ会 会報



2022.1月

会員の皆さん、新しい年を迎え1か月ほどが経過しましたが、いかがお過ごしでしょうか。年明けから新型コロナウイルスの感染者が再度急増しています。2020年2月に新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから2年が経過し、生活様式も少しずつ変化しているのを皆様も感じていらっしゃるのではないのでしょうか。昨年はつかさ会の総会・秋の講演会をWEBで実施するなど、初めての試みもあり、会員の皆様におかれましても戸惑われることもあったかと思えます。コロナ禍をきっかけにデジタル化が加速するなかで、より多くの方にご参加いただけるよう、試行錯誤していきたく思っております。

さて、ここからは今月のさかえの読みどころ紹介をしたいと思います。



『巻頭特別インタビュー (P.6)』として、21年シーズンをもって阪神タイガースを引退することとなった岩田 稔さんのお話が掲載されております。以前、この会報でもお伝えしたとおり、岩田さんは今年度のガリクソン賞を受賞されました。ガリクソン賞とは、1型糖尿病を抱えながら読売ジャイアンツに在籍し、2年間で計21勝、大リーグ通算162勝を記録したビル・ガリクソン氏の名前にちなんだものです。1型糖尿病の方で一般社会、スポーツ、文化、科学、芸術などで活躍した人、小児糖尿病キャンプスタッフとしての貢献が著しい人に対して、日本糖尿病協会から贈られています。岩田さん自身、ガリクソン氏の存在が励みになり、野球を続けることができたそうです。興味深いお話がたくさん載っていますので、ぜひ読んでみてくださいね。

また今月から新連載として、『心配ご無用、運動療法 (P.14)』が始まります。全6回にわたって、糖尿病と心臓病の運動療法について詳しく知ることができる連載となっております。今回のテーマは、糖尿病と心疾患の関係です。糖尿病に起因した心疾患として、心筋梗塞や労作性狭心症といった冠動脈疾患を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。確かに、糖尿病がある方の冠動脈疾患のリスクは糖尿病がない方の2~3倍といわれています。しかし最近のデータで、糖尿病が原因となる心疾患は冠動脈疾患より心不全が多いことが分かってきました。日本において心不全患者さんは増加の一途を辿っており、最近の日本の心不全の現状などが詳しく書かれています。これから半年間、この連載を通して心臓病と運動療法に関する知識を一緒に増やしていきましょう。

まだしばらくは厳しい寒さが続くかとは思いますが、感染対策や体調管理に気を付け、共に乗り越えていきましょう。2022年も皆様にとって良い年になりますように。

文責：酒井麻有

